

# 大阪発明協会経営者向けセミナー開催

## 「モノづくり企業を活性化する4つの秘訣」

大阪発明協会では今年度、初の試みとして主に中小企業の経営者を対象として、中小企業経営者より知的財産の重要性と自社の知財戦略等について講演していただく「経営者向けセミナー」を企画いたしました。第1回目となる今回は、経営者・発明者として「ネジザウルス」や「鉄腕バサミ」等のヒット商品を連発し、メディアを利用したプロモーション戦略を熱心に行っているなど今や



旬の人でありながら、当協会理事として、また知的財産教育協会中小企業センター長として、知的財産権制度の普及啓発に熱心に取り組んでおられる、株式会社エンジニア代表取締役社長の高崎充弘氏を講師に迎え、「モノづくり企業を活性化する4つの秘訣～ネジザウルス GT の開発から得られたMPDP～」というテーマのもと、住友クラブ多目的ホールにおいて約50名の多くの参加者を集めて開催いたしました。

頭が潰れたり、錆びたネジを簡単に掴んで外す工具である「ネジザウルスGT」のヒットから生まれた高崎社長独自のヒット商品を生み出す方程式「MPDP理論」は、Marketing・Patent・Design・Promotionの4つの要素を欠かさず組み合わせることによって初めてヒット商品が生まれるというもので、「ネジザウルスGT」が利用者アンケートから生まれ(Marketing)、積極的な知的財産戦略による技術情報の保護を基盤として(Patent)、商品として親しみやすいデザインを施し(Design)、TV等のメディアやキャラクターを大いに活用した広告宣伝力(Promotion)によって空前の大ヒットをもたらした



という自身の経験を、高崎社長は難しくなりがちなこれらの解説を映像や画像を利用して大変分かりやすく、そして簡潔明瞭な話術によって参加者が楽しませると共に、そのわかりやすい説明によって特に中小企業にとっての知的財産の重要性を再確認させられました。参加者のアンケートにおいてもその人を惹きつける高崎社長自身のキャラクターとMPDP理論の完成度が絶賛されており、参加者にとってはとても有意義な時間となったのではないかと思います。

なお、講演終了後には2階レストランにて参加者同士の交流会が行われ、会員・非会員も含めた参加者同士の親睦を深めるとともに、高崎社長からのプレゼント抽選会も行われ、大いに盛り上がりました。当協会としてもまたこのような経営者向けセミナーを企画していく予定です。